



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021-2022年度



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 魚谷 幸司 幹事 宇恵 久視 SAA 楠部 均

第 2094 回例会

2022年4月25日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F
IDM報告

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「四つのテスト」
3. 出席報告

会員総数 41名 出席者数 24名
出席義務規定適用免除会員 1名
出席率 61.54% 前回修正出席率 87.18%

4. 会長スピーチ 会長 魚谷 幸司 君

皆様こんにちは。本日は「次年度の活動の提案」というテーマでの IDM の発表となっております。発表される皆様、後ほど宜しくお願い致します。

本日は特に報告事項もありませんが、ガバナー月信にウクライナのロータリークラブについての記載がありましたので抜粋してご紹介したいと思います。まず、1991年、ウクライナの独立後に、首都キーウでロータリークラブが設立されました。その後数回にわたり、地区再編が行われ、2016年7月に2232地区（ウクライナとベラルーシ）に分割されました。2013年時点ではドンバス地方には7つのロータリークラブがあり、会員数は110人おられたそうですが、2014年ロシアによるクリミア併合、ドンバス地方での武力紛争によりバラバラになったようです。キーウ・アドバンス・ロータリークラブの幹事よりの報告もありました。



このクラブの歴史は、ドンバス地方にある旧ドネツク・アドバンス・ロータリークラブが設立された2013年より始まりましたが、2014年ロシアによるクリミア併合、ドンバス地方での武力紛争により、キーウに移住した会員4人から始め、8人で活動をしていました。2019～2020年度には地区での入会者数が最多になり、2232地区よりガバナー表彰も受けたことがあります。

クラブは紛争の経験より「平和構築と紛争予防」に奉仕プロジェクトの焦点を当てることにされました。その一つとして戦争や武力紛争に影響を受けた子供たちの心理的リハビリを支援する大規模な国際プロジェクトにも携わっていたようです。

日々、戦争による見るに堪えない映像が流れておりますが、全世界の人々、ロータリアンはこの問題から目を背けることなく、支援をしなければいけないと実感しております。

5. 幹事報告 幹事 宇恵 久視 君

○例会臨時休会のお知らせ

和歌山西 RC 5月11日(水) 18日(水)
「カフェ例会」
5月25日(水)→5月26日(木)18:00～
「魚菜八風」夜間例会
和歌山東 RC 5月12日(木)→5月12日(木)
12:30～ アバローム紀の国
和歌山北 RC 5月16日(月)→
5月14日(土)、15日(日) 春の親睦家族旅行
(飛騨高山方面)
岩出 RC 5月19日(木)→5月19日(木)
(早朝清掃活動のため)
平池公園周辺(紀の川市貴志川町)
7:00～7:30 例会 AM8:00～8:30

○例会休会のお知らせ

和歌山東 RC 4月28日(木)
和歌山城南 RC 4月28日(木)5月5日(木・祝)
和歌山北 RC 5月2日(月)
岩出 RC 5月5日(木・祝)
和歌山南 RC 5月6日(金)
和歌山中 RC 5月6日(金)

6. IDM報告

○テーマ 「次年度(中村年度)の活動と提案」

第1組 発表者: 中村

例会について

- ・以前やっていたように、例会の席を指定席にしてみたら。
- ・食事をもう少し工夫を凝らしてほしい
- ・欠席の場合だけでなく、メイキャップをしてみる。



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

事務所 〒642-0002
海南市日方1294(海南商工会議所4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

初めての方は、メイキャップの経験がある人と一緒に行く。

例会の運営の仕方など、それぞれのクラブで違うのでいろんなクラブを見て欲しい。

地区より、もうすぐメイキャップした時のスタンブカードのような物が届く。

予定なので、是非活用してほしい。

- ・出席・欠席の報告の徹底
- ・食事を残さないようにする（フードロスをなくす）
- ・出て欄のメンバーさんに昔のロータリーについて話を聞きたい

第2組 発表者：岸

中村会長エレクトが、RI 会長テーマや地区ガバナーの方針をベースに考えられている会長方針、「会員同士の親睦」「ハイブリッド例会の活用による出席率向上」「会員増強・退会防止」「地域に密着した奉仕活動」等々の内容は、目まぐるしく変化する社会・経済環境に対応していけるよう多様性に富んだものであり、非常に熱意を感じますが、収束の見えないコロナ禍の下、できることとできないことを十分考慮して、無理のないロータリークラブ活動を実践していただきたいと思います。

ロータリーの伝統も踏襲しつつ、新たな活動を増やし継続させていくにあたって、委員長や理事のメンバーの協力を得ながら活動を実践していただきたいと思います。

第3組 発表者：千賀

イマジン ロータリーを想定して

◎社会奉仕に於いて我々海南東ロータリーはどういう役割を演じられているか

◎既存の各ロータリーと協力して地域に貢献できる活動ができるか

◎祭りなどの提案やサポートはどうか

◎ロータリークラブとしての企画立案ではなく、地域住民の声に耳を傾け、活動方針を定めては

◎会員増強に対しての動機づけには何かしらのイベントが必要ではないか

◎社会奉仕に拘るのではなく、時には会員数が僅かでも親睦だけを中心としたクラブ運営も必要ではないか

◎会員数は重要なので、さらなる増強が不可欠

◎ロータリークラブの社会奉仕活動による企画を立案してみてもどうか

◎余談ではあるが、ゴルフをしない会員もいるのにニコニコの中でゴルフネタが多すぎる

第4組 発表者：田中 淳

会員増強について

- ・田舎でもはやっているレストランのように入りたいたいと思うような魅力あるロータリークラブを造るべきである。 そのためには、親睦活

動、奉仕活動等を活発に行い、SNS を利用した外部への PR 活動も積極的に行う。

出席率向上について

- ・クラブの役員や理事をすると日々の生活の中でロータリーへのウエイトが大きくなり例会へも積極的に参加するようになる。この観点から考えると、各委員会を定期的開催し、会員全員がクラブ運営に参加しているという意識を持つこと、また、その際に会員同士の親睦を図ることが出来るため、出席率の向上につながる。

奉仕活動について

- ・海南市や紀美野町の社会福祉協議会に聞き取りをし、援助を必要としているものに対して寄付等の奉仕活動を行う。
- ・前回の IDM で阪口さんが提案されていた、高校生を対象としたインターアクトクラブの創設を実施する。

第5組 発表者：田中(祥)

メンバーの年齢差があるため、話が合わない事も多くそういう事をなくすようにしたい。ウクライナの支援。

コロナでイベントなど参加実施するのが難しいのであれば寄付などしてあげればいい。あとは中村会長に一任する。

第6組 発表者：角谷

課題：6組テーマ：会員増強・世代交代・出席率向上につながる活動を強化、新設を考える。

- ・会員増強～世代交代を積極的に進めていくべき 若い世代の団体（JC）との交流活動を企画、定例化してJC卒業後、ロータリーに参加する流れを作る
- ・ロータリークラブの対外的な目～敷居が高い？（会費も含め） というイメージあり？どのようにして敷居を低くするか？
- ・ゴールド会員（年間費半額 ただし食事はなし）の設定に引き続きファミリー会員設定の提案＝会費も含めてどういう規約にするか？いろんな行事に家族も参加できることで、出席率も上がるはず
- ・出席率向上のために、定期的に場所を変える回数を増やす（新春例会・花見例会のように）
- ・公開例会の復活（著名人による講演会・地域のためになるセミナー開催他）
- ・青少年プログラムで地元高校（海南高校・智弁学園）へ海外留学を促し派遣することを実現する
- ・障害者施設・支援学校の児童への慈善活動・・・そちらへ出向いて何が出来るか相談する
- ・シングルマザー・学童保育とのかかわりを考える
- ・姉妹海外クラブとの交流強化
- ・ロータリーの活動を対外的にPRできる活動を強化する、新たに考える
- ・AEDに寄贈とそれに関連して消防署による使



い方教室などの開催
研修・情報規定委員長 寺下

本年度の第3回のIDMを終了しました。特によかった点は3回とも出席率が80%以上であったことです。コロナの影響で心配しましたが、沢山の参加と多くのご意見をいただけたことがよかったですと思います。次年度に向けてクラブの活動や運営の参考にしてください。



4月は「母子の健康月間」です

7. 閉会点鐘

【次回例会】

5月9日(月) 19:00～ 夜間例会
海南商工会議所 4F
お誕生日、結婚記念日のお祝い



ニコニコ・BOX

IDM 4組、6組の残金。



ポリオとの闘いにおける進展は、ワクチン接種の重要性を証明するものです

世界保健機関(WHO)によると、ワクチンの効果に関する認識を高め、予防接種率を上げていくことで、ポリオを含むワクチンで予防できる疾病から世界中の何百万人もの人びとを守ることができるとされています。



4月24～30日の世界予防接種週間は、予防接種活動に焦点を当てる機会となり、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体が築いた強固なインフラを、その模範的な例として示すことができます。

GPEIは、ポリオワクチンによって、世界中で推定2,000万人の子どもが身体まひから救われたと推定しています。ロータリーがGPEIの発足に協力した1988年当時、ポリオによって世界中で毎日1,000人以上が身体まひになり、そのほとんどが幼い子どもたちでした。以来、ロータリーとパートナー団体はポリオ発症数を99%削減し、2021年には、野生

型ポリオウイルスによる発症数がわずか6件となりました。野生型ポリオウイルスによる発症が現在も起きている国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。



ポリオ根絶活動の進展は、支援が届きにくい地域社会の子どもたちに予防接種を行い、リアルタイムで世界規模のサーベイランス(監視活動)と発生時の対応システムを確立した無数のボランティアや医療従事者の努力の結果です。ポリオ根絶活動で築かれたインフラは、ほかの感染症との闘いや、新型コロナウイルスの予防接種活動の支援など、重要な保健活動に活用されています。

ポリオを根絶寸前にまで追い込んだ数十年の経験から、ロータリーは新型コロナウイルスの効果と有効性を強調してきました。2020年に世界的流行が開始して以来、ロータリー会員は、保健当局が新型コロナウイルスに関する重要情報を伝え、誤った情報に対応し、公平かつ平等なワクチン入手を支援してきました。

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

【カナダ】

アルバータ州グランドプレーリーのロータリークラブは、近年、ローターアクトと組んで恵まれない人びとのために衣類



の必需品を半年に一度集めるキャンペーンを実施しています。10月下旬、Grande Prairie ロータリークラブは、グランドプレーリーの他クラブ(スワンシティ、サンライズ、アフターファイブ)やグランドプレーリー・ローターアクトクラブとともに、アイスホッケーのジュニアリーグの地元チームの協力を得て「タイティ・ホワイトティ・トス」を実施。対ブラックファルド・ブルドッグス戦の開始後数分でグランドプレーリーストームが最初のゴールを決めると、ファンは新品の靴下や下着のパッケージをリンクに投げこみました。試合の数日後に、ホームレスの人びとに奉仕する地元団体がこのことを記事にしました。「このイベントだけで6立方キロを超える靴下と下着が集まりました」と、同クラブ会員のキャリー・サンドボーさんは言います。「靴下や下着は何より必要な衣類ですが、センターへの寄付が一番少ないのです。」

【メキシコ】

7月に起きた洪水で引きおこされた土砂崩に山腹の集落エル・コッリが飲みこまれると、Zapopanロータリークラブは家を失った100人以上の被災者のために衣類などの救援物資を提供するためにただちに動きました。「食料品や、約50袋の洋服、石鹸、抗菌ジェルなどを世帯ごとに配布しました」と同クラブ会長のラモン・ディアス・メンドーサさんは言います。大洪水発生から1週間も経たないうちに、7人の同クラブ会員が地元住民の助力を得て

この救援活動を開始。クラブの拠点から車で約20分のところにある、グアダ



ラハラ郊外のエル・コッリに救援物資を届けました。この被災者救援活動は、17人の会員からなる同クラブが2021年に取りくんだ13件のイニシアチブの1つです。同クラブは先住民族ウィシヤリカ族への支援を中心に、村民への食料の定期的な寄贈や、農場労働者の子どもたちが通う2校への12台のコンピューター寄贈、そしてホームレスの人びとへの継続的な食料品配布など、野心的な活動を精力的に行っています。

【ポルトガル】

パンデミックによるロックダウンを最大限に活用し、Estoi Palace

Internationalロータリークラブの会員6人が布地、糸、針を集



めて120匹のテディベアをかぎ針編みで手作りしました。12月には児童館と障害者センターに手作り品を配布。「コロナ禍は、切に必要な資金を調達するさまざまな方法を見つけるきっかけとなりました」と同クラブ会長のシャーリー・ダンさんは言います。「うちの会員たちは『Happy Bears』をかぎ針編みするというアイデアを思いついたわけです。」また、地元の2人の受益者の「お気に入り」リストに載ったアイテムをそろえるために約1,900米ドルも集まりました。

【チュニジア】

Tanit Carthageローターアクトクラブは、若いがん患者にスポットライトを当てて2019年に大成功を収めたファッションショーを11月下旬にリバイバルし、四肢切断や皮膚病、火傷の傷跡などほかの疾患を抱える若い女性や少女も対象に、規模を拡大

して開催しました。シディ・ブ・サイドの豪華絢爛なエネジューマ・エッザーラ宮殿に集まった約150



人の観客を前に、12名の参加者が「Rac Mahlek」や「You Are So Beautiful」などの曲に合わせてキャットウォークを歩き、特別に用意された衣装を披露しました。「このプロジェクトを行ったのは、人とは違って自分も美しいと女性たちが感じられて、望むことは何でも実現可能なんだと分かってもらうためです」と、会員数24人の同クラブの会長であるアジズ・ジュイニさんは言います。このイベントを担当した9人の同クラブ会員は、参加者選出からボールルームの装飾、ヘアスタイリストやメイクアップアーティスト、ミュージシャン、写真家の採用まで、ひとつとして抜かりなく企画運営を行いました。費用はチャリティーコンサートの収益で賄いました。「がんを患っているある参加者の親御さんが、レッドカーペットを歩きたいという娘の夢を実現させてくれてありがとう、とわざわざ言いに来てくれました」とジュイニさん。

【カンボジア】

アジア全体にわたるパートナーシップのおかげで、Phnom Penh Metroロータリークラブによるカンボジアの青少年の教育機会を増やすための取り組みが強化されました。日本の大阪中央ロータリークラブと台湾の台北圓山ロータリークラブから4,000ドルの寄付を受けたPhnom Penh Metroロータリークラブは、NGOの日本国際ボランティアセンターの現地スタッフと協力して、シェムリアップ州のOsamaki Primary Schoolの教室を拡張しました。



405人の生徒が16人の教師のもとで学ぶこの学校は、入学者数が増えているにもかかわらず「教室の数が少なくて困っ

ていた」と同クラブ会員の西口みちえさんは言います。広い部屋を2室の教室に作り変えて、電気配線、壁、床を改装した大工事の前には、同校は敷地内にある小屋を教室にしていました。「大雨が降ると大変なことになります」と西口さん。

四つのテスト

善行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか